

施設整備事業に係る事後評価の結果
(平成 21 年度事後評価分)

1. 今回の委員会での評価対象事業

平成 21 年度においては、費用対効果分析手法の対象とされている施設整備事業のうち、施設設置後 3 年を経過したもの（87 施設）が事後評価の対象となる。

今回の委員会においては、費用対効果分析により事後評価を実施した以下の全ての事業について、自己評価の結果を報告し、ご意見を伺うものとする。

【具体的事業の内訳】

		施設数(件)
畜産関係	食肉流通合理化総合対策事業	11
	畜産環境緊急特別対策事業	3
	地域肉用牛振興対策事業	25
	低コスト肉用牛生産特別対策事業	11
砂糖関係	精製糖企業合理化促進緊急対策事業	21
	甘しや糖製造合理化対策事業	8
	てん菜糖集荷製造流通合理化対策事業	5
	てん菜糖省エネ・環境対策推進事業	3
合 計		87

※ 環境・衛生関連事業等の費用対効果分析になじまない事業については、コスト分析手法により評価を行う。

2. 評価結果

地域肉用牛振興対策事業及び低コスト肉用牛生産特別対策事業以外の事業については、全て投資効果は「1」を上回った。

また、計画時の投資効率と実績値の投資効率が▲20%以上乖離していた施設は32件であった。

地域肉用牛振興対策事業及び低コスト肉用牛生産特別対策事業の2事業（36施設）については、31施設が投資効果が「1」以下となった。また、これらの事業のうち、31施設については、投資効率が▲20%以上乖離する結果となった。これらの施設は、事業実施計画において、目標年（5年）経過後、投資効率が1を上回る計画となっており、3年経過した時点においては、投資効果が十分に発現していないためである。

〔事後評価結果一覧〕

事業名	件数	投資効率が 1以下の施設	計画時の投資効率に比 べ、実績値による投資効 率が▲20%以上乖離し ている施設
食肉流通合理化総合対策事業	11	0% (0/11件)	0% (0/11件)
畜産環境緊急特別対策事業	3	0% (0/3件)	33% (1/3件)
地域肉用牛振興対策事業	25	96% (24/25件)	92% (23/25件)
低コスト肉用牛生産特別対策事業	11	64% (7/11件)	73% (8/11件)
精製糖企業合理化促進緊急対策事業	21	0% (0/21件)	0% (0/21件)
甘しや糖製造合理化対策事業	8	0% (0/8件)	0% (0/8件)
てん菜糖集荷製造流通合理化対策事業	5	0% (0/5件)	0% (0/5件)
てん菜糖省エネ・環境対策推進事業	3	0% (0/3件)	0% (0/3件)
計	87	35.6% (31/87件)	36.8% (32/87件)

注1：投資効率＝{(年総効果額÷還元率)－廃用損失額}÷総事業費

注2：■部分は、目標年を5年として、3年目に事後評価を行った事業で、子牛等価格の低迷及び飼料高騰等を考慮に入れず試算した結果。

【参考】

配合飼料価格の高騰及び子牛価格の低迷を考慮した場合の試算結果は、以下のとおり。

事業名	補正後			補正後の評価結果が 3年目の計画を下回 っている施設
	「1.0」超	「1.0」以下	合計	
地域肉用牛振興対策事業	8	17	25	13
低コスト肉用牛生産特別対策事業	8	3	11	1
合計	16	20	36	14